

# 「クレヨンしんちゃん」のギャグから考える 言語的面白さの仕組み

法学部政治学科 4 年  
小泉玲雄

## 1. はじめに

多様な仕掛けで笑いを起こすお笑い、我々の心を癒やす強い力を持っている。筆者はお笑いのコントを研究した経験がある。コントは言葉だけで笑いを取る漫才とは異なり、小道具やセットを活用することで観る人をその世界観に引き込んで、笑いを巻き起こす一種の喜劇である。平成時代を風靡したコント師「アンジャッシュ」は、「すれ違いコント」を生み出すプロだった。すれ違いコントとは、自然に成立しているように見える 2 人の会話が、実はコンテキストを共有できていないために誤解が多発し、そのおかしさから笑いが起きるものだ。定量的な分析の結果、名詞の多義性や指示代名詞の曖昧さが多用されると面白く、下品であったり動きが多すぎたりすると面白くなくなるなどの傾向が示唆された (n=7)。

一方で、アンジャッシュよりも長い期間人々に愛され続けている娯楽の 1 つに、国民的コミック・アニメ『クレヨンしんちゃん』がある。<sup>1</sup> 「おバカな行動でオトナたちを困らせる」「日本一おさわがせな 5 歳児」<sup>2</sup>である野原しんのすけには、お尻を出す動きを始めとした下品な言動が多々見受けられる。それにも関わらず、「お茶の間の人気者となり、今や二世代にわたって親しまれている」<sup>3</sup> には、どのような理由があるのか。

本論では、『クレヨンしんちゃん』において、野原しんのすけはどのような言い間違えによって笑いを起こしているのか、彼の「ギャグ」になにか傾向はあるのかを言語学の手法を用いて明らかにする。

---

<sup>1</sup> 「アンジャッシュ」の結成は 1993 年、デビューは 1994 年。2020 年から 2022 年の間は活動を自粛しており、現在はテレビ出演は少ない。一方で『クレヨンしんちゃん』は 1990 年から漫画が連載され始め、1992 年からはアニメも放送されている。

<sup>2</sup> 「『クレヨンしんちゃん』公式ポータルサイト」 (<https://www.shinchan-app.jp/about/index.php>、最終閲覧日: 2023 年 2 月 5 日)

<sup>3</sup> 同上

## 2. 先行研究

### 2.1. 関 (2002)<sup>4</sup>

関は「おかしみ」を生成する構造を体系的に分類した。まず、笑いの構造を大きく伝達的操作と展開的操作の2通りに分けた。伝達的操作は、音・語・意味・文法などの「転回軸」を用いることで、単独の発話の中で既成概念とのズレを起こすパターンである。伝達的操作には表現内容と伝達内容がおおむね同じ(A)か、異なる(B)かの2つのパターンがあるとした。一方の展開的操作は、単独の発話で成立するものではなく、会話の展開や文脈の上に成り立つものである。展開的操作の中には、会話の運びそれ自体がおかしみを持つパターン(C)と、伝達的操作を内包するパターン(D)の2通りがあるとしている。

表現内容と伝達内容がほぼ重なる相(A)の事例として、「100メートルを7秒で走ったら、フラットとする。7秒フラット。」が挙げられている。ここでは、「ちょうど」を意味する「フラット」とめまいで「フラット」する状態の音の共通性を利用し、意味のずれを生成している。この事例のように、音が同じ、あるいは近いことばでありながら別の意味が呈される状態を、「音を基軸に転回」した結果「意味のずれ」が生じたと言う。音以外の転回軸の例として、「レディーゴーじゃ」が挙げられている。「よし行くで」という本来想定される発言に対し、「レディーゴーじゃ」は、発話の意味はおおむね同じだが、言語(表現方法)が異なる。つまり、「意味という転回軸」のもとに「語種(表現)のずれ」が生じたと言える。他の転回軸でも同様に、共通するあるいは近い要素が「軸」であり、それを回転させることで任意の要素で「ズレ」が発生するのだ。

表現内容と伝達内容が異なる相(B)は、表現内容(発話された通りの意味)と伝達内容(言外の意味・真の意味)にずれがあり、真意をくみ取ることによっておかしみが生成されるものである。この例として、「風呂にゆだるまでつかとったらええ」が挙げられている。文脈に沿うのは「温まる」だが、一般的に人間に用いない「ゆだる」(湯が煮られて火が通るの意)をあえて用いることで、皮肉を込めている。「湯で温度を高める」という共通の表現内容(=展開軸)のもとに、ポジティブそうに見えてネガティブな伝達内容のズレが発生している。

次に、会話の運びそれ自体がおかしみを持つCのパターンについては、話の展開そのものがおかしみを生じさせるものである。しかし、本論で着目したいのは「クレヨンしんちゃん」において、「言い間違い」などにより生じるギャグであり、会話への割り込みや発話権利の

<sup>4</sup> 丸括弧内は筆者補足。A-Dの符号は筆者が便宜上付したものであり、以下の項でも用いることがある。

横取り、無視といった会話の構造レベルのおかしみについては検討をしない。よって詳述は省略する。

最後に、D の伝達的操作を内包するパターンである。伝達的操作のおかしみの精度を増すために展開が用いられる類であるとされており、当論文内では 2 つの事例が挙げられている。いずれも、表現内容を軸にし伝達内容にずれを生じさせる B のパターンをベースとしており、特徴は会話の流れが聞き手のミスリードを促進している点である。

最後に、「発語態度」「音」「語」「意味」「ジャンル」「表現内容」「会話」の転回軸が関与することで、言語表現によるおかしみが喚起されるとまとめている。

## 2.2. 山本 (2007)

山本は、関 (2002) らの先行研究を参考にしながらも、「音、語、意味、ジャンル、事実の 5 つの転回軸は、判断基準が曖昧であり (中略) 客観的に判断することが困難である」とし、独自の分類体型をつくっている。山本は、伝達的操作、展開的操作、その他の操作の 3 つに大きく分類を行った。展開的操作については関の定義に則っているが、新たに下位分類を行っている。しかし、会話の枠組みを超える笑いは、本論が扱いたいミクロな視点での言語学ではないため、詳細の記述は控える。一方の伝達的操作については、想定される概念 A (関の言葉を用いれば「既成概念」) が明確に定まるか否かで 2 分し、それぞれを伝達的操作  $\alpha$ 、伝達的操作  $\beta$  としている。伝達的操作  $\beta$  の事例は、おぼれた子に「水を飲め」と言ったり、迷子の館内放送で述べられた服装の特徴に対して「コーディネートを考えて」と言ったりするものである。山本はこれを「文法形式のみを転回軸にする操作」であるとしている。

また、伝達的操作  $\alpha$  の下位分類として、音軸型、語軸型、ジャンル軸型、助数詞軸型の 4 つに分類を行っている。音軸型は関と同じ定義を用いているため詳述はしない。語軸型は、「同義語、類義語、対義語、肯定/否定等の関係になっているパターン」としている。続くジャンル軸型は「同じジャンルに属するパターン」とし、例として「メガネ」と「コンタクト」を挙げている。助数詞軸型は、助数詞が必ずしも軸ではないが数字を変化させて常識とのずれを生むものだ。

この分類のもと M1 グランプリの漫才を分析した結果、伝達的操作は全体の笑い (n=1341) のうち 66.00% を占め、その内伝達的操作  $\alpha$  が 72.43% (=全体の 47.80%) で最も頻度の高い笑いの構造であったとしている。

### 3. 先行研究の検討

#### 3.1. 関 (2002)

ここで、AとBの差異について検討したい。Aは発話のそのままの意味をくみ取れば理解できるもので、Bは真の意味をくみ取る必要がある類とされた。Aの2つ目の事例(レディーゴーじゃ)は、Bと似ているが、表現内容(行くぞ、という表現)と伝達内容(行くぞ、という意味)に大差はない。一方のBは、表現内容(ポジティブな意味で温まる)と伝達内容(ネガティブな意味で温まりすぎ)に差異がある。ここで、関はBの事例における軸の要素として、意味と表現内容の2つを挙げていることに着目したい(Aの事例については転回軸は単独であった)。関は、意味の軸を回転させた結果、文法のずれ(「ゆだる」は人間には用いない)が生じ、表現内容の軸を回転させた結果、伝達内容のずれが生じたとしている。Aにおいて「意味」が指すものは表現内容と伝達内容の両方であったのだが、Bにおいては「意味」をそのままの意味と文脈を踏まえた真の意味の2つに細分化して検討しているのである。つまり、Aでは1つの要素として扱われていた「意味」の中で、軸とずれが生じるためその要素を分解する必要があるのがBのパターンだ。

「意味」を2つの分解された要素として考えると、Aの2つ目の事例(レディーゴーじゃ)で用いられた「意味」はどちらの「意味」なのだろうか。「よし行くで」と「レディーゴーじゃ」では、言いたいこと(=表現内容)は同じだが、伝わり方(=伝達内容)には少しばかりの差異がある。どちらもポジティブな意味だが、伝達内容の観点では「レディーゴーじゃ」の方が楽しさや威勢のよさを感じさせる。つまり、本事例は、「意味の転回軸」で「語種(表現)のずれ」が生じたともいえるが、詳細に言うならば「表現内容の転回軸」で「表現方法のずれ」が生じたとするのが適切であろう。つまり、展開軸・ずれにおける要素「意味」は、「表現内容」と「伝達内容」に分けて詳細な検討を行うべきと考える。

展開的操作について、関はこれを伝達的操作の上位概念に位置付けていると筆者は解する。とりわけDについては、AやBのおかしみを前提としており、「おかしみの精度を増すための展開」にとどまる。つまり、メインのおかしみの原因は伝達的操作であることに相違はなく、Dにおける展開の役割は笑いの補助的な役割にすぎない。AやBのおかしみの生成パターンにおいて、会話の文脈が笑いに影響したか否か、つまりDの分類になり得るかを判断することは難しく、またそのことは本論においては重要な要素ではない。加えて、関のDの要素分解の方法はBのそれと同じであり、会話の展開を「転回軸」の概念を用いて説明することは困難であると伺える。よって、本論ではC及びDの「展開的操作」の概念は検討から省くこととする。

### 3.2. 山本 (2007)

まず、伝達的操作  $\beta$  に関して検討する。概念 A が定まらない状態では、概念 B と共通する要素が存在しようがなく、よって軸も存在しないことになる。その上、そもそもこれは文脈に依存するため、関が定義するところの「伝達的操作」にはあたらないと筆者は考える。展開的操作とも異なるが、想定外の突飛な発言を行うことで生じる「ずれ」は、少なくとも伝達的操作  $\alpha$  の「ずれ」とは異なる。伝達的操作  $\beta$  は比較が難しいうえに、大きな会話の枠組みの次元での操作なので、本論では検討の対象とはしない。

次に、伝達的操作  $\alpha$  の下位分類について検討する。最も出現頻度の高い伝達的操作  $\alpha$  は精緻な分類の可能性が残されているためだ。まず、音軸について、山本は関 (2002) の定義に則り「概念 A と概念 B が同じ、もしくは似通った音という共通点を持つパターン」としている。音軸の定義としては異論はないのだが、同じ音を軸に回転させるのと、似通った音を軸に回転させるのは似て非なる操作であるし、その軸を認識するプロセスも異なる。同じ音の異なる語を「軸」にする場合は、聞き手は同じ音の語に他の意味を発見することでおかしみとなる。この「ずれ」の発見を促すために前後に単語や文脈を付されることも多いだろう。ここで、軸はまっすぐでそれ以外の箇所が軸の回転を起こしている。一方で、似通った音を軸にする場合は、軸に手を入れる必要がある。似た音は多く存在するため、どのように似た音を利用するかという方向性を決める必要がある。聞き手は、異なる語であるから「ずれ」には気が付きやすいが、どのような共通性 (軸) があるのかを発見する必要がある。なぜなら、軸のないこと、すなわち全く関係のないことを言うことは面白さに欠けるからだ。同音軸と比較するならば、軸にひと手間加えて曲げたものが似た音軸なのである。その曲げ方は多様だが、あまりに曲げ過ぎれば折れてしまい軸として機能しなくなるだろう。よって、「音軸」は「同音軸」と「似通った音軸」に大きく 2 分することができ、「似通った音軸」はより詳細な分類が可能であると考えられる。

続いて、音軸以外の軸に関して検討する。まず、同じジャンルに属するものの中に、類義語や対義語が存在するため、ジャンル軸型は語軸型の上位概念になり得るだろう。例えば、「月」と「太陽」であれば「天体」というジャンルに属する。「月」と「太陽」は同じ天体であるから類義語であるともいえるし、一方で地球から見える 2 つの大きな天体という軸で考えれば対義語とも言えよう。つまり、表現内容が同じであれば関の「意味軸」を用いることができるのだが、表現内容が共通点を有するが異なるものであれば「ジャンル軸」を用いるべきであろう。例えば、「私」と「吾輩」はいずれも 1 人称を表現するため「意味軸」を、「はい」と「いいえ」はいずれも返答を表現する (=ジャンル) が表現内容は肯定と否定で異なるため「ジャンル軸」を用いる。ただし、「私」と「吾輩」も同じ人称代名詞というジ

ジャンルに属するため、「ジャンル軸」に含まれる可能性を否定できない。いずれも「ジャンル」は共通することから、「意味軸」は「ジャンル軸（意味軸）」、意味は共通しないがジャンルだけ同じ「ジャンル軸」は「ジャンル軸（その他・他軸なし）」とすべきであろう。また、数字を変化させる助数詞軸型については、数字というジャンルが共通しているため、ジャンル軸型の下位分類に位置づけることができると考えるが、言語的な仕掛けには該当しないため本論では調査の対象としない。

#### 4. 分析方法

前項の先行研究の分析から、会話構造を除いた言葉による笑いが起きる仕組みをまとめる。

ある概念 A について、任意の「軸」を回転させる、つまり任意の要素を共通点として変化を生むことで、新たな概念 B をつくりだす。これら概念 A と概念 B の「ずれ」が笑いとなるのである。

「2. 先行研究」及び「3. 先行研究の検討」をもとに、以下のように「軸」を設定した。「クレヨンしんちゃん」のギャグをこれらの軸を用いて分類することを試みる。

- 音軸型
  - 同音（同音異義語など）
  - 音の入れ替え（音位転換）
    - 母音間
    - 子音間
    - 音節間（1文字以上の音節）
  - 音の変化
    - 母音の変化（母音交替）
    - 子音の変化（子音交替）
    - 音節の変化（1文字以上の音節）
  - 音の追加
  - 音の削除
  - 音の反復（2文字以上連続する反復、それ未満は音の追加）

## ● ジャンル軸型

- 表現内容軸型
  - 慣用表現
  - 一般表現（類義語など）
  - 非慣習的共通表現（流行語など）
- 伝達内容軸型
- 純ジャンル軸型

「音の追加」・「音の削除」の定義について、これらは音節単位での加減を扱うものとし、音素（母音・子音）レベルでの加減は「音の変化」と分類する。また、母音同士の音の変化（「あ」と「い」など）は音節レベルでの変化とみなす。また、音の追加と音の削除については、加減された音節の数を付して記す。

また、「軸」は、明らかに複数の軸が共存している場合はそれらをまとめて記し、検討する。「ずれ」に関しては、必要に応じて検討する。

上記の分析方法を用いて、『クレヨンしんちゃん』の近年放送されたテレビアニメ 34 回分と、原作者である臼井氏が単行本 50 巻の中から選りすぐりの傑作を集めて特別編集した「ギャグ傑作選」のうち 2 冊に登場するギャグを書き起こし、表に 164 個をまとめた。

なお、本論における「ギャグ」は、発話者を問わずアニメやマンガ内で、発話によって笑いが起こるもの、及び店名や商品名、人名などの固有名詞の 2 種類を含有する。

### 5. 分析の結果（それぞれの軸の事例を示す）

分析の概要は、以下の表 1 にまとめた。なお、用いた元のデータは、分類された軸と共に、末尾に付す表 2 にまとめた。

表 1. 集計の結果

大分類	中分類	小分類	件数	全体に占める割合
音	同音		37	15.81%
	音の入れ替え		24	10.26%
		母音	6	2.56%
		子音	2	0.85%
		音節	16	6.84%
	音の変化		103	44.02%
		母音	24	10.26%
		子音	45	19.23%
		音節	34	14.53%
	音の追加		26	11.11%
		1音	23	9.83%
		2音	3	1.28%
	音の削除		4	1.71%
		1音	4	1.71%
	音の反復		3	1.28%
		小計	197	84.19%
ジャンル	表現内容		13	5.56%
		慣用表現	7	2.99%
		一般表現	5	2.14%
		非慣習的共通表現	1	0.43%
	伝達内容		11	4.7%
	純ジャンル		13	5.56%
		X	6	2.56%
		Y	7	2.99%
		小計	37	15.81%
合計			234	100%



表1に示した通り、本調査で用いたギャグの中に含まれていた仕掛け（軸）の総数は234件で、その内、音軸が197件（84.19%）と大半を占めていた。音軸の中では、音を変化させる型の軸が103件（全体の44.02%）を占めていた。次に多くみられた型は同音の軸で、37件（全体の15.81%）であった。このことから、音の変化の型が突出して多いことが伺える。

「音の入れ替え」においては、音節を入れ替えるものが24件中16件（66.67%）と突出している一方で、「音の変化」においては103件中、母音、子音、音節のどれもが過半数を超えることはなかった。

「音の追加」と「音の削除」に関しては、追加、あるいは削除した音の数を併記したが、ほとんどが1音の加減であった。音の削除にいたっては、サンプル数が4件と少ないこともあり、そのすべてが1音の削除となった。

「ジャンル軸」では、表現内容、伝達内容、純ジャンルの3つの軸にほぼ均等に分布していた。

## 5.1. 音軸型

### 5.1.1. 同音

概念A（既成概念）と概念B（獲得概念）が同じ音であることを基軸として転回させる型である。

[例1]（表2 No.144）

《ヒロシ（父）が夕飯にカレーを提案するが却下され、「なんでもいって言ったのに」とぼやく》

「カレーにはナンでもいいよ」

例1では、「なんでもいい」の「なん」がカレーの「ナン」と掛けられ、別の意味を持つ文章になっている。一般的なダジャレであるものの、ちょうどカレーの話であることと、夫婦の喧嘩が勃発しかねない状況下での子供らしい本発言は、文脈に即しており面白さが生まれている。

同音の軸では、他に「しんこう」（出発進行、お新香）、「さんせい」（賛成、酸性）、「かえる」（帰る、蛙）などが用いられていた。

### 5.1.2. 音の入れ替え（音位転換）

概念 A の文字列をその中で 1 音素以上入れ替えて転回することで、新たに概念 B が得られる型である。母音のみを入れ替えるものと、子音のみを入れ替えるものと、音節（母音+子音）を入れ替えるものがある。

#### [例 2]（表 2 No.34）

《ひまわり（妹）のおやつについて話す》

「ひまのおつや」

例 2 は、「おやつ」のことを「おつや」（お通夜）と言い間違える、野原しんのすけのギャグの典型的なパターンである。1 音節を入れ替えることで、子供らしい語が、大人らしい意味に変化し笑いを生むずれである。

また、隣り合う音を入れ替えるケースが多い中、またぐ距離が長い音を入れ替えるケースもあった。

#### [例 3]（表 2 No.3）

《ボウリング場で失態を起こし、謝罪が済んだ後》

しんのすけ「戸を切り直してガンバロー」

（ツッコミ：気を取り直してだろ）

例 3 では、「と」と「き」を 1 音節隔てて入れ替え、別の意味に変化させている。戸を切る場面ではないため、会話の流れにおいては不自然だがそれがずれであり、面白さに繋がっている。

一方で、別の意味に変化するのではなく、もともとの意味を失うにとどまるものも見られた。

#### [例 4]（表 2 No.10）

《銭湯で男性たちが「いやあ やはり ふろは広い方がいいですなァ」と会話している》

「いや〜ん やはり ひろは ふろい方がいいですな」

例4では、「ひ」と「ふ」の母音のみを2音節も隔てて見事に入れ替えているが、その意味は失われている。他にも意味が失われる例は多くある。例えば「メモ」を「モメ」（母音のみ入れ替え）、「まぎらわしい」を「まぎわらしい」（子音のみ入れ替え）、「デザイン」を「ザデザイン」などと言い間違えるパターンである。

なお、たしかに入れ替える音の距離が離れている方が手が込んでいる仕掛けに思われるが、本論ではその距離に関係なく入れ替えた音の数のみをカウントした。

### 5.1.3. 音の変化

概念Aの文字列のうち1音素以上を任意に変化させることで、概念Bが得られる型であり、このパターンが最も多くみられた。概念Aの文字列の中で特定の文字を移動させる「音の入れ替え」とは異なり、特定の文字を別の文字に変化させる。「音の入れ替え」と同様に、母音もしくは子音またはその両方に変化が起こる。

#### [例5] (表2 No.49)

《「おひとりさま」になろうとしたが失敗したミサエへの言葉》

「母ちゃんはおふとりさまだね」

例5では、「ひ」の母音を変化させ「ふ」にしている。「おふとりさま」の語は一般的には用いられないが、太っている人に敬称をつけた言葉であると推察される。慰めや同情の言葉が想像される一方で、母音を1つ変化させたことで全く逆の軽蔑の言葉に変わっている。体型はミサエのコンプレックスであるため、面白さに拍車がかかる。

#### [例6] (表2 No.5)

《不良グループが決め台詞を放ったのを見て、拍手をしながら》

しんのすけ「よ マンホール マンホール」

不良A「み見せもんじゃねえよ それにアンコールだ」

例6では、「アンコール」の2つの子音を操作することで「マンホール」に変化させている。「ア」と「マ」、「コ」と「ホ」はいずれも母音が共通する近い音での変化であるため音の類似性が高い。意味のずれは大きく、格好つけている人に対して、まるまるとしていて汚い物体である「マンホール」の語をぶつけることは「アンコール」の意味とは真逆の侮辱の意味を与える（実際に不良に動揺を与えていることが不良Aの発話の仕方からうかがえ

る)。また、子音のみを操作するパターンは韻を踏んでいるとも表現でき、単語全体でも音の響きが近い。他の例では、「銀世界」を「キンメダイ」、「ねこだまし」を「ねこじゃらし」、「新人バスガイド」を「ニンジンナスダイコン」、「かけおち」を「崖落ち」等と変化させている。このパターンは不自然な印象を与えない上に、よくひねりが利いていると感じさせる。しかし、音の近さや音の響きの類似度について、本論ではこれを定量的に表すことはせず、変化させた音の数のみを定量的に扱う。

[例 7] (表 2 No.68)

《クレヨンとチョコを間違えて使ってしまう》

しんのすけ「ついこってり」

(ツッコミ：それをいうならうっかりだろ)

「うっかり」の 2 つの音節を変化させて、別の副詞に変化させている。状態副詞を別の状態副詞に変化させるパターンは他にも多く登場する。例えば、「うっかり」を「まったく」、「すっかり」を「どっかり」、「がっかり」を「こってり」などに変化させるものがある。いずれも促音「っ」と「り」は維持されているが、音の変化はそれぞれ違っている。

例 5 から例 7 でみたように、「音の変化」は母音、子音、音節のそれぞれのレベルで発生していた。

#### 5.1.4. 音の追加

概念 A に音を追加することで、概念 B を得るパターンである。

[例 8] (表 2 No.123)

《しんのすけが会社の係長になっている》

「いつでもオラのところに相談にきなこくさい」

例 8 では、「来なさい」と言うべきところ、語中に「こ」「く」の 2 つの音を追加することで「きなこ臭い」と別の意味に変化させている。「きなこ臭い」の語は一般的ではないが、「く」のみ追加した「きな臭い」はやや一般的である。5 歳で未就学児の彼は「きな臭い」の語を「きなこ臭い」と認識しているのかもしれない。いずれにせよ、意味が大きく変化しており、文章全体としては意味が通じなくなっている。

他の例でも、「醍醐味」を「粗大ごみ」、「ラジャー」を「ブラジャー」、「ピスタチオ」を「ピスタチウオ」（架空の魚の名前）などとその意味を大きく変化させている。

#### 5.1.5. 音の削除

概念 A から特定の音を削除することで概念 B を得るパターンであり、前節の「音の追加」と逆の操作をするものだ。このパターンは出現頻度が低く、4 件にとどまった。うち 2 件は固有名詞が絡む例で、もう 1 例は他の軸が絡むため、以下にあげる例 9 が音の削除による意味変容をわかりやすく示す唯一の例である。

[例 9] (表 2 No.141)

《玄関で待っていたヒロシのもとに、家からしんのすけが出てくる》

「おまた〜」

例 9 では、「おまたせ」と言うところ、末尾の音を削除し、その結果彼が好きな好色系の領域でもある下半身の身体部位が出現している。

#### 5.1.6. 音の反復

音を反復することで別の概念を生み出すパターンは、関や山本が検討した既存の軸に分類することは難しいが、従来の音軸に追加されるべき構造である。

[例 10] (表 2 No.135)

《友人グループが公園でフリマ（フリーマーケット）を始める》

「オラのお尻もフリフリマ〜」（お尻をフリフリする）

「フリマ」の 2 音節を反復することで、「フリフリ」という語が生まれている。ここで、たしかに「フリ」の音を追加したと捉えることはできるが、上で見た「音の追加」は元の語とは無関係な音を追加しているにすぎず、連続する 2 音節以上を元の語に追加する操作とは似て非なるものだ。

## 5.2. ジャンル軸型

ジャンル軸型は、「3.2 山本 (2007)」で検討したパターンであり、意味的な軸で変化を起こすものである。関と山本が利用した「ジャンル軸」は、本論では「その他 (他軸なし)」として分類される。これは、表現内容、伝達内容のいずれもが共通しない場合において適用される、「内容は異なるが、ジャンルだけが同じ」という軸だ。

### 5.2.1. 表現内容軸型

表現される内容は同じだが、解釈によってずれが生じるパターンである。別の意味で捉えられる表現には、慣用的な表現、類義語などの一般的な表現、流行などの影響で非辞書的な意味 (辞書には掲載されなさそうだが共通認識として浸透している意味) を持つ表現の 3 種類に分類することができる。

#### 5.2.1.1. 慣用表現

慣用表現を転回軸とするものは、慣用表現をそのままの意味で解釈してずれが起こるパターンと、発言した慣用表現がダブルミーニングを持ち、掛けことばとなるパターンに分けられる。

[例 11] (表 2 No.28)

《園長先生が「鼻が高いです」と言う》  
「いつもと同じ高さだぞ」

「鼻が高い」という慣用句をそのままの意味で受け取り、物理的に鼻の高さに差がないことを指摘したことで、伝達内容のずれが顕著に表れている。

[例 12] (表 2 No.58)

《骨の折れた傘を持ちながら、隙間に入ってしまった 500 円玉を取ろうと先生たちが頑張る》  
「いろいろと骨が折れますな」

慣用句をそのままの意味で受け取った例 11 とは対称的に、例 12 は「骨が折れる」という慣用句を用いて先生たちが必死に努力する様と、そのままの物理的な意味で「傘の骨が折れた」状況の 2 つを巧みに表現している。慣用的な意味がこめられているのか、それとも字面

通りの意味で用いられているのかは発話者にしか分からず、聞き手がどちらの意味を先に理解するか依存するだろう。しかし、いずれの意味で用いられていたとしても、単に同音なのではなく、慣用表現という軸で転回が行われていることに違いはない。

#### 5.2.1.2. 一般表現

一般表現に分類されるものは、慣用的ではなく一般的な表現だが解釈に違いが発生するパターンで、多少コンテキストに依存する。

[例 13] (表 2 No.57)

《「あんたのおかげで大損害よ」と叱られる》

「いやあまたまたオラのおかげだなんてそんな〜」

例 13 では、良い意味でも悪い意味でも取れる「おかげ」という語を軸に転回を行い、悪い意味から良い意味にずれを生じさせている。

#### 5.2.1.3. 非慣習的共通表現

非慣習的共通表現は、辞書的ではないが共通認識がある程度得られている意味を軸にしたパターンだ。本論で調査したデータには 1 つの例があった。

[例 14] (表 2 No.33)

《ミサエに箸の持ち方を指摘される》

しんのすけ「自分は不器用ですから」 (渋い声と渋い表情で)

ミサエ「ケンさんのじゃなくて！」

例 14 では、箸がうまく使えない状況を表現することを軸に転回させ、俳優の高倉健が CM で発した名台詞「自分、不器用ですから」を再現するように表現している。

#### 5.2.2. 伝達内容軸型

表現内容を軸として伝達内容にずれが生じる例は関 (2002) も提示していたが、伝達内容を軸にする例は関にも山本にも提示されていない。しかし、伝わる内容が同じだが見かけ

の表現内容は異なるパターンも論理上あるはずだ。「クレヨンしんちゃん」内にはその例があったため、以下に提示する。

[例 15] (表 2 No.117)

《幼稚園から帰ってきたしんのすけ》

「ただいまマルゲリータ」

例 15 に示した例では、帰宅のあいさつ「ただいま」に「マルゲリータ」という関連性のない語を追加している。他にも「ただいまマンゴー」や「おかえりスザル」、「おかエリンギのバター炒め」などの例がある。これは野原しんのすけの典型的なギャグであり、様々な場面において用いられている。

あいさつに無関係な単語が追加される、しりとりのようなパターンだが、伝達される内容はあいさつだけでそれに続く語は意味を持たない。なお、このパターンでは、接続部（例 9 では「ま」）の同音性が同時に重要な役割を果たしているため、「伝達内容」と「同音」の 2 軸でカウントした。本調査においては、伝達内容が基軸となったのはこのしりとり型（2 音が重なることもあるため正確にはしりとりではないが）のみであった。

### 5.2.3. 純ジャンル軸型

関や山本が定義した「ジャンル軸」が、本論ではこの分類に該当する。純ジャンル軸型は、その軸の選定方法によって大きく 2 通りに分かれる。

1 つ目は、語の一部を抜き出し、抜き出した語が含まれるジャンルを軸に回転させ、別の語で置き換える操作をするものだ。これを「純ジャンル軸型 X」と呼び、軸となったジャンルは便宜上、表 2 の「下位分類」列に追記する。

[例 16] (表 2 No.59)

《大好きなご近所のお姉さん虎場あゆについて、ヒロシと会話する》

しんのすけ「あゆおねいさんに会えると思ったら、尻が軽いぞ」

ヒロシ「それを言うなら足が軽いだろ」

例 16 は、純ジャンル軸型で典型的にみられる身体部位を軸に転回させたケースだ（純ジャンル軸型 X が 6 件あるうち、身体部位をジャンル軸としたのは半数の 3 件で、これが最も



多く利用されていた)。いずれも慣用句であり、意味することの差異は大きい。ずれが好き  
な異性について話す状況に妙に合ってしまうことからおかしさが生まれている。「足が軽い」  
から「足」を抜き出し、「足」が属する「身体部位」というジャンルを基軸にし回転させた  
結果「尻」が出現している。

2 つ目は、語の一部を抜き出し、残った語を軸に回転させ、別の語に置き換えるものだ。  
これを「純ジャンル軸型 Y」と呼ぶこととする。

[例 17] (表 2 No.72)

《合コンに参加中のまつぎかせんせいに会う》

「まつぎか先生の隠し子です」

例 17 では、「教え子」と言うべきところを「隠し子」と言っている。例 16 の操作と異な  
る点は、抜き出した「教え」からジャンル軸を創出するのではなく、残された「○○子(ご)」  
をジャンル軸として回転させていることだ。純ジャンル軸型 Y は、「ジャンル」の意味をよ  
り広く捉え、スキーマと同義なものとして扱うものとも言えるだろう。

## 6. 考察

前項で示したように、今回取り扱ったすべてのギャグは上記の軸で分類することができた。  
先行研究では粒度にばらつきがあった「軸」を次元ごとに整理し、精緻化させることができ  
たと言える。

ここで「ずれ」の面から「軸」を検討してみたい。意味が失われるケースは、ずれの幅が  
少なく面白さに欠けることが多い。それでも散見される理由として、彼が 5 歳の幼稚園児で  
あることから、本人は転回後の意味のずれを意識していないとの仮説が立てられる。その場  
合、音軸の回転においては、無作為に音を操作しており、そのために面白さにもばらつきが  
あると言えるだろう。しかし、意味が消失するケースに着目したところ、全操作の中で「音  
の入れ替え」でのみ意味の消失が発生していたことが分かった。例えば、「音の変化」はあ  
らゆる音の中から変化させる音を選択できる一方、「音の入れ替え」では文字列内で変化す  
る音と変化させる音を選択する必要がある。つまり、「音の入れ替え」は自由度が最も低い  
操作であるから、意味不明な概念が生まれてしまうことがあると言えるだろう。

音の飛躍的な変化はわかりづらいため面白さも感じにくく、音が似ていても意味の消失や  
文脈との不整合が起こると面白さを感じられない傾向にある。ただし、一見わかりづらいギ

ヤグであっても、何の言い間違いだったのかの説明を含むわかりやすいツッコミの存在によって一定の面白さは担保されているように感じる。

また、「ずれ」の大きな傾向として、領域的な変化が挙げられる。大人が使いそうな語を子供が使いそうな語と間違えるパターンやその逆がある。大人が使いそうな語には、難解な単語や、反社会的な活動に関連する単語や、お金関係であったり性的であったりする不健全な単語が含まれる。

## 7. おわりに

大まかな軸を再構築できた一方で、それぞれの軸の細かい分類に関しては至らなかった点が多々ある。まず、ギャグの分類方法についてである。1つのギャグの中で複数の音进行操作していることが往々にしてあり、その記述方法については多分に悩まされた。すべてが小分類レベルで同じ仕掛けであった場合は軸の重複としてその数を記載したが、1つでも異なる仕掛けがあった場合はそれぞれを併記する形をとった。

音の軸のパターンを細かく分解したことで、より細かな分類の可能性も感じた。例えば、[例 7] (表 2 No.68) に挙げた「うっかり」を「こつてり」と言うケースを、本論では「うっ」と「か」の2音節を別の音節に変化したとしか分類できていない。促音が維持されており、語のリズム感が保たれていることは、発話をベースとするアニメにおいて重要な要素であることは疑う余地もない。長音の取り扱いに関しても同様に困惑した。本論では音節の区切りを用いたが、時間的な区切りのモーラを活用することも今後検討したい(ただし、音節で区切る方が適する例もあるため、慎重な検討を要する。実際、「ガイド」を「ダイコン」と変化させた例(表 2 No.103)においては、音節区切りを用いたことで「コン」を1音節とみなすことができた)。

音の入れ替えや音の変化について、正確な分析のためには、ことばの近さをジャロ・ウィンクラー距離などの指標で定量化すべきだが、本論では大枠をつかむことを優先し、文字列の類似度(編集距離)は考慮しなかった。

音の変化について、似たような音のものもあれば、かなりかけ離れた音の場合もある。音素単位で変化したものは音が似ていると言えるが、その音素の中にも近いか遠いかはあるだろう。例えば、「かけおち」を「崖落ち」と勘違いする例(表 2 No.15)を本論では子音の変化としたが、濁音化したと捉える方が適切であろう。

また、書籍版とアニメ版(文字と音声)の比較検討を行う余地も感じた。例えば、表 2 No.16 の例では、ゴルフの「OB」を「OL」に変化させている。「ビー」の2音節を「エル」

に変えたのではなく、1つの文字「B」を「L」に変えたと考えられる。紙面上のギャグのデータ数を増やせるのであれば、「文字軸」を新たに設けることを検討する余地がある。すなわち、より精緻な軸の分類の可能性は大いに残されていると言えよう。

## 8. 参考文献

関綾子 (2002) 「おかしみの生成における言語操作の構造」 『早稲田日本語研究』 (10):135-146

山本貴也 (2007) 「漫才におけるおかしみの構造の言語学的分類」 『思言 東京外国語大学記述言語学論集 第3号』:227-234

「『クレヨンしんちゃん』公式ポータルサイト」 (<https://www.shinchan-app.jp/about/index.php>、最終閲覧日: 2023年2月5日)

## 9. 参考資料

白井儀人 (2010) 『クレヨンしんちゃんベストセレクション 初期ギャグ傑作選 すべてはここからはじまった! 編』、双葉社

白井儀人 (2012) 『クレヨンしんちゃんベストセレクション 後期ギャグ傑作選 しんのすけと仲間たち! 心に残るあのキャラこのキャラ大集合!! 編』、双葉社

テレビアニメ『クレヨンしんちゃん』 (2020.5, 2021.11-2022.6, 2022.12-2023.1)

表2. 本論で用いたギャグのデータと軸の適用

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
1	ミサエが「あなたステキ!! かつこい～」とヒロシのボウリングを褒める	ステーキ食べた～い!!	素敵	音の追加	1		1992-1996
2	ボウリング場でボウルを投げずに自分自身がレーンを転がってしまう	なんてケキンなスポーツなんだ	きけん	音の入れ替え	母音		1992-1996
3	ボウリング場で失態を起こし、謝罪が済んだのち	戸を切り直してガンバロー	気を取り直して	音の入れ替え	音節		1992-1996
4		子作り	米作り	音の追加	1		1992-1996
5	不良グループが決め台詞を放ったのを見て、拍手をしながら	よ マンホール マンホール	アンコール	音の変化	子音	2	1992-1996
6		おまたげないぞ	おとなげでしょ	音の入れ替え・音の変化・音の変化	音節・子音・母音		1992-1996
7		やけいのカリクリがおへたで	家計のやりくり	音の入れ替え	音節		1992-1996
8		タイヤ焼きください	たい焼きください	音の追加	1		1992-1996
9		ランボルニーギニギ	ランボルギーニ	音の入れ替え・音の反復	音節・2		1992-1996
10	銭湯で男性たちが「いやあ やはり ふろは広い方がいいですなア」と会話している	いや～ん やはり ひろは ふうろの方がいいですな	風呂は広い方がいい	音の入れ替え	音節		1992-1996
11	本屋の店員「どこの出版社から出てるかわからないよね」	しゃっぱんしゅ?	出版社	音の入れ替え	母音		1992-1996
12		モメする	メモする	音の入れ替え	母音		1992-1996
13	ヒロシがゴルフの練習に行くためにしんのすけと芝居を打ったことについてみさえが怒る「悪いのは子供をダシに使ったことよ!」	えっ?! オラをだしに…?! みそ汁でも作るの?	子供をダシに使う	表現内容	慣用表現		2003-2010
14	しんのすけがストーカーをまこうとする	オラ今プレイメイトだから えんりょしてくれる?	プライベート	音の変化・音の変化	母音・子音		2003-2010

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
15	あい「あいとかげ落ちして！」	痛いよ…ケガするよ (崖落ち)	かけおち	音の変化	子音		2003-2010
16	ヒロシがゴルフの練習中「これじゃOBだよ」	OLのがいいよね	OB	音の変化	音節		2003-2010
17	あい「あいとかげ落ちして！」	マグロを解体するとき… (中落ち)	かけおち	音の変化・音の変化	子音・母音		2003-2010
18		しちいれな	失礼な	音の変化・音の入れ替え	母音・音節		2020/05/30
19		エエ容姿の栄養士ちゃん		同音			2020/05/30
20		煮えたものフーフー	似たもの夫婦	音の追加	2		2020/05/30
21		キセキという石ですか	奇跡	同音			2020/05/30
22		多数のおケツで決める	多数決で決める	音の追加	1		2020/05/30
23		太もも～！	太っ腹～！	純ジャンル	身体部位		2020/05/30
24	混雑する高速道路を走行中、みさえが「下の道で行かない？」と提案する	お～秘密の道があるの？	高速道路に対して一般道		慣用表現		2020/05/30
25		男のマロン	男のロマン	音の入れ替え	音節		2020/05/30
26	風間「出発進行」	ナスのぬか漬け (お新香)	出発進行	同音			2020/05/30
27		組長	園長	純ジャンル	Y		2020/05/30
28	園長「鼻が高いです」	いつもと同じ高さだぞ			慣用表現		2020/05/30
29		お肌に優しい弱酸性	賛成	同音			2020/05/30
30		おしりの座葉	多少の飛躍	音の変化・音の変化・音の変化	音節・母音・音節・音節		2020/05/30
31		メえ～ (羊)	執事	音の変化	子音		2020/05/30

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
32		ここのお店で薬が買える～ おてて繋いで仲良く帰る～ 一緒にケロケロダメならひ っくり返る～		同音			2020/05/30
33	箸の持ち方を指摘された	自分は不器用ですから	ケンさんのじゃなくて!	表現内容	非慣習的共通表現		2021/11/13
34		ひまのおつや	ひまのおやつ	音の入れ替え	音節		2021/11/13
35		こう見えても、けっこんし ようですから	それを言うなら潔癖症	音の変化・音の追 加・音の変化	音節・1・母音		2021/11/13
36		パンダをつけないとヘーコ イタだぞ	ハンデをつけないと不公 平	音の変化・音の変 化	子音・母音		2021/11/13
37		ゲコ (カエルの鳴き声)	下戸	同音			2021/11/20
38		でめたしでめたし	めでたしめでたし	音の入れ替え	音節		2021/11/20
39		一曲お願いします!	一局お願いします!	同音			2021/11/27
40	ヒロシと将棋を指す場面	しょうぎない	しょうがない	音の変化	母音		2021/11/27
41		出発おしんこう～	出発進行	音の追加	1		2021/12/04
42		これがマチコンの違いか	価値観の違い	音の変化・音の変 化	子音・母音		2021/12/04
43		こりゃまたケツレイ	失礼	音の変化	音節		2021/12/04
44		サッパリメント	それを言うならサブリメ ントでしょ	音の変化・音の変 化	子音・母音		2021/12/04
45		おらがかっこよくザデザイン するぞ	デザインでしょ	音の入れ替え	音節		2021/12/04
46		ちょっとこの辺をムラムラ と	ブラブラ	音の変化	子音		2021/12/11
47		安さの王国 ゲンキ・ホーテ	驚安の殿堂ドン・キホー テ	音の変化	音節		2021/12/11
48		忍法・分シリの術	分身の術	音の変化	音節		2021/12/11

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
49	「おひとりさま」になろうとしたが失敗したミサエへの言葉	母ちゃんはおふとりさまだね	おひとりさま	音の変化	母音		2021/12/18
50	ヒロシを慰める	父ちゃん、どんぶ りまい うー！略してドンマイ！		同音			2021/12/18
51		サイタマート	埼玉+マート	伝達内容・同音	1		2021/12/18
52	まつざか先生がしんちゃん宅を訪れ、カフェごっこが始まる	何名様ですか？ああずーつとおひとりさまですね。			一般表現		2021/12/25
53	マサオくんが英会話アプリをアップデートして、英語の勉強をしている。マサオ君が「リンゴの発音は『アプー』」であるとしんのすけに指摘する	アプーデートだね	アップデート	音の入れ替え・音の変化	音節・音節		2021/12/25
54	ワカサギ釣りに来た野原家。案内のお姉さんに対して、	おねいさんになら釣られてみたい			慣用表現		2022/01/22
55	ワカサギがいっぱい釣れると思ったら1匹だけだった	サギだ		同音			2022/01/22
56	ラップバトルをしている	おしえてあげる オラのヒ ミツ モテモテのおケツ	それを言うなら秘訣だろ	音の変化	音節		2022/01/22
57	あんたのおかげで大損害よ	いやあまたまたオラのおかげだなんてそんな～			一般表現		2022/01/22
58	骨の折れた傘を持ちながら、隙間に入ってしまった500円玉を取ろうと頑張る先生たちを横目に	いろいろと骨が折れますな			慣用表現		2022/01/22
59	大好きなご近所のお姉さん虎場あゆについて	あゆおねいさんに会えると思ったら、尻が軽いぞ	それを言うなら足が軽いだろ	純ジャンル	身体部位		2022/01/29
60	ミノムシごっこを提案して、その面白さを訴える	それがミノムシのソダイゴミだから	ソはいらないわよ、ダイゴミ	音の追加	1		2022/01/29
61	太った人の体型を評価する	インコ型だぞ	それを言うならアンコ型よ	音の変化	音節		2022/01/29

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
62	配達員のおじさんに一言いう	フクロウさま	ごくろうさま	音の変化	音節		2022/01/29
63	リアリティについて	アリアリが入ったお茶のことだ っけ	リアリティ	音の削除・同音	1・		2022/01/29
64	テレビのリモコンの故障を直そうとするミ サエ	アブラカタブラ〜ヤブレカ ブレラ〜	元地元西武のカブレラ、 「やぶれかぶれ」	音の変化・音の変 化・音の入れ替 え・音の変化	子音・母音・音節・ 音節		2022/02/05
65		ブラジャー	ラジャー	音の追加	1		2022/02/05
66	スキー場にきて	一面のキンメダイですな	銀世界	音の変化	子音	3	2022/02/05
67	おねいさんを見て	ついまったく	それをいうならうっかり だろ	音の変化・音の変 化	音節・子音		2022/02/12
68	クレヨンとチョコを間違えて使ってしまう	ついこったり	それをいうならうっかり だろ	音の変化	音節	2	2022/02/12
69	商品名 (ホッカイロ)	ヌクイヨン	ホッカイロ	表現内容	一般表現		2022/02/12
70	帰宅の場面	おかエリンギのバター炒め	お帰り	伝達内容・同音			2022/02/12
71	店舗名	ヤマンバ電機	ヤマダ電機	音の追加・音の変 化	1・子音		2022/02/12
72	合コンに参加中のまつざかせんせいに会う	まつざか先生の隠し子です	教え子	純ジャンル	Y		2022/02/26
73	ニューヨークで仕事をしている男に対して	お風呂屋さんでしたか	それは入浴	音の追加	1		2022/02/26
74		ムフーンウォーク	ムーンウォーク	音の追加	1		2022/02/26
75	ハンバーグをつくらうとする	ヌードエプロンエッサッサ ー	それを言うならフードプ ロセッターでしょ	音の変化・音の追 加・音の追加・音 の変化・音の追加	子音・1・1・子音・ 1		2022/02/26
76		きょうはエッサッサーを使 って料理を作っていきたい と思います	プロセッター	音の追加・音の変 化・音の追加	1・子音・1		2022/02/26
77	いまのは猫だましたな	ねこじゃらしでキザの里の 勝ち	猫だまし	音の変化	子音	2	2022/03/05



No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
78	すもうをとる。行事は「木村しんのすけ」。	両者においてにおいて	それを言うなら見合って見合ってだろ	音の変化・音の変化	子音・母音		2022/03/05
79		ただいマンドリル	ただいま	伝達内容・同音			2022/03/05
80	みさえ	おかえリスザル	おかえり	伝達内容・同音			2022/03/05
81	竜子ちゃんとしんちゃんのかげあい	もっちりやらないと	それをいうならみっちりだろ	音の変化	母音		2022/03/12
82		ほうほうそれはごくろう、ほうほうそれはフクロウ		同音・音の変化	・音節		2022/03/19
83	ななこおねいさんに目覚ましの声を録音してもらえて幸せなしんちゃん	シワヨセです	シアワセね	音の入れ替え・音の変化	音節・音節		2022/03/19
84	自転車の不良音が聞こえる	父ちゃんのそらまめじゃない？	それを言うなら空耳だろ	音の変化	母音	2	2022/03/19
85		おすやみなさい	おやすみなさいでしょ	音の入れ替え	音節		2022/03/19
86	すぐ飽きちゃうくせに？とミサエに煽られる	オラがいつ飽きた山形というのです		同音			2022/03/26
87		まあ、こってりするなよ	それを言うならがっかりでしょ	音の変化・音の変化	音節・音節		2022/03/26
88	ヒロシのボヤキに対してしんのすけがアレンジした発話をする	(靴下は履いてなんぼ) 当たってくじける…なんてのは足臭いか	(営業は断られてなんぼ) 当たって砕けろ…なんてのは古臭いか	音の変化	音節	3	2022/03/26
89	スピーチの極意を考えながら散歩している	お酢に入れた桃は、ス・ピーチ	スピーチ	同音			2022/03/26
90		おーどっかりわすれてた	すっかり忘れてた	音の変化	音節		2022/03/26
91	野原家が戸建てを買う前に住んでいたアパートの名前	「くずれ荘」	崩れそう	同音			2022/04/02
92		1人でバーベキューしてて寂しそうだったから	バーベキュー	音の入れ替え	母音		2022/04/02
93		おかえりまき	おかえり	伝達内容・同音			2022/04/09

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
94	しんちゃんの幼少期に通っていた病院の名前	「ナオール医院」		音の追加	1		2022/04/09
95	しんちゃんが先に一人で帰る際に、棒にぶつかる。	ごめんくさい	ごめんなさい (ごめんください?)	音の変化	音節		2022/04/09
96	名詞 (八百屋の店名)	八百長	八百屋	純ジャンル	Y		2022/04/16
97	お風呂で幼少期のしんのすけが祖父と発話の練習中、うまくいったときに祖父「よく言えたな」に続く発言	よく煮えたな	よく言えたな	音の変化	子音		2022/04/16
98		クロマグロ	黒幕	音の変化・音の追加	子音・1		2022/04/16
99	黒幕の説明で「裏で糸を引く人よ」と聞いた後の発言	オラも糸を引いてるぞ! (納豆をまぜる画)		表現内容	慣用表現		2022/04/16
100	まつざか先生が図体が大きい男性とつりをしていたが、男性にエサをみせたら驚いて逃げてしまった。	とんだドミノ倒しですな	見掛け倒し	純ジャンル	Y		2022/04/30
101	名詞	レロックス	ロレックス (時計の名前)	音の入れ替え	母音		2022/04/30
102	みさえ「デザートは別腹よ」	でも実は三段腹よ	別腹	純ジャンル	Y		2022/04/30
103	かき氷を食べているところにバスガイドが催促に来る。	あ、ニンジンナスダイコンのおねいさん!	新人バスガイド	音の変化	子音	4	2022/04/30
104	バスの出発時間にギリギリ間に合い、ガイドさん「出発進行!」	オラおしっこ	進行	音の変化	子音		2022/04/30
105	「目の上に墨がついてるぞ」と指摘したが、アイシャドーであることが分かった	墨じゃなくてすみません		同音			2022/05/07
106		任務カンチョウだぞ	任務完了	音の変化	子音		2022/05/07
107	名詞	ウメジュン	マツジュン	純ジャンル	木 (松竹梅)		2022/05/07
108	お銀さんに彼氏ができそうになったが、アイドルが好きだから断ったと聞いた時の反応	とんだ腹すかしですな	肩すかし	純ジャンル	身体部位		2022/05/07

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
109		酔乙女グループ	早乙女	音の変化	母音		2022/05/07
110		ピスタチウオ (魚)	ピスタチオ	音の追加	1		2022/05/07
111	しんちゃんが幼稚園の友人に会った時のあいさつ	グッドモーニングナイスバディ	グッドモーニングエブリバディ	純ジャンル	Y		2022/05/14
112		ただいまママカリ～岡山名物。	ただいま	伝達内容・同音			2022/05/21
113	人名 (カリスマ主婦)	カーリー・須磨代	カリスマよ	音の追加	2		2022/05/21
114	幼稚園に登園するしんのすけ	いってきますのすしは富山名物	いってきます	伝達内容・同音			2022/05/21
115		こんにちは、ニクキュウ便です	宅急便	音の変化・音の変化	音節・母音		2022/05/21
116	隣の奥さんとストレッチの話をしている	ふとレッチだからストレッチでもするか		音の変化	子音		2022/05/21
117	幼稚園から帰ってきたしんのすけ	ただいまマルゲリータ	ただいま	伝達内容・同音			2022/05/21
118	幼稚園の先生が「最近本を読んでもくれる子が少ないの」と子供たちに悩みを打ち明ける。	若者のケツ字離れですな	活字離れ	音の変化	母音		2022/05/21
119	名詞 (ラーメン屋の店名)	又木亭	また来て	音の追加	1		2022/05/21
120	ラーメン屋店主「ウチは醤油ラーメン一本」	え、麺が一本だけしかないの？		表現内容	慣用表現		2022/05/21
121	店主「そろそろ潮時かな」	醤油ラーメンをやめて塩ラーメンを始めるんですな	店をやめる	表現内容	一般表現		2022/05/21
122	ひろし「うまかった」	牛負けた	うまかった	純ジャンル	お盆の供え物・勝ち負け		2022/05/21
123	しんのすけが会社の係長になっている	いつでもオラのところに相談にきなこくさい	相談に来なさい	音の追加	2		2022/05/28
124	人名 (新しく配属された新人)	振主万太郎	フレッシュマン太郎	音の削除	1		2022/05/28

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
125	名詞	夢の脂肪吸引マシン「チューチュー取レイン」		同音			2022/05/28
126	エレキギターを持っているマサオくんに対し、風間くん「バンドマンみたいだね」	正義の味方「バンドマン！」		同音			2022/06/04
127	イベント会場の受付で	コンニチワワ	こんにちは	伝達内容・同音			2022/06/11
128	障子の張替え中園長「ノリをつけます」	イエ〜イ！みんなノってるかい？		同音			2022/06/11
129	障子を破ってしまった一同	障子だけに正直に謝りましょう		音の追加	1		2022/06/11
130	ひろしの帰宅を迎えるしんのすけ	ただいまんごー	おかえり (ただいま)	伝達内容・同音			2022/06/11
131	風間くんのダンスが変。「ちゃんとできるよ」と虚勢を張っている	ちゃんちゃんとしてませんぞ？	ちゃんと	音の反復・同音	2		2022/06/18
132	ダンスの指摘をするが風間くんには伝わっていない	風間くんがこれほどキンカンだとは思わなかったゾ	鈍感	音の変化	音節		2022/06/18
133	「今おなかま総選挙やってるの知ってる？」	「おばから？」	おなかま	音の変化	子音	2	2022/06/18
134	(CM) 建築イノベーションの会社	リノベーさんの会社ですな	リノベーション	音の変化	子音		2022/12/03
135	友人グループが公園でフリマを始める	オラのお尻もフリフリマ〜	フリマ	音の反復			2022/12/03
136	ねねちゃんだけが気づいていない状況で、ボーちゃんが	知らぬが鼻水	知らぬが仏	純ジャンル	Y		2022/12/03
137	忘れ物の財布がマサオくんの手元に戻って来て、ボーちゃんが	カエルの財布が無事帰る		同音			2022/12/03
138	バッグの取っ手が取れてしまう	取っ手だけにとってもショック		音の追加	1		2022/12/03
139	固有名詞	プスライト	スプライト	音の入れ替え	子音		2022/12/03
140	リメイクがうまくいったミサエがカリスマリメイカーと自称する	カニスルメイカー (仮想のヒーローの悪役)	カリスマリメイカー	音の変化・音の削除・音の変化	子音・1・母音		2022/12/03
141	玄関で待っていたヒロシのもとに家からしんのすけが出てくる	おまた〜	おまたせ〜	音の削除	1		2022/12/10

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
142		そうともゆ〜くさつの湯〜		同音			2022/12/10
143	カバンの上に乗るしんのすけをどかすために風間くんが彼のお尻を押す	いやん！カバン！ウフン！	アハン	音の変化	子音	2	2022/12/10
144	ヒロシが夕飯の献立でカレーを提案するが却下され、「なんでもいって言ったのに」とぼやく	カレーにはナンでもいいよ	なんでもいい	同音			2022/12/10
145	寝ているヒロシを起こしに行く	犬のねーちゃん見に行こうよ！	イルミネーション	音の変化・音の変化 化・音の変化	子音・音節・子音		2022/12/17
146	人名（新人アナウンサー）	みんなのアイドル、相戸ルナです	アイドルな	同音			2022/12/17
147	人名（ベテランアナウンサー）	小津 暮根代（オツボネヨ）	お局よ	同音			2022/12/17
148	ミサエが尻の育て方をしんのすけから学ぼうとする	ダシは取らない主義	弟子	音の変化	母音		2022/12/17
149	帰って来てそのまま回れ右をする	ただい回れ〜右	ただいま	伝達内容・同音			2022/12/17
150	ボーちゃんがハワイから帰ってくる	イロハ〜	アロハ〜	音の変化	音節		2022/12/17
151	（番組サブタイトル）	アニバーしりー	アニバーサリー	音の変化	母音		2022/12/24
152	チーターくんに向かって	ウェイター	チーター（名前）	音の変化	音節		2022/12/24
153	アイドルを前にした幼少期のヒロシ	ドキがムネムネするだ	胸がどきどき	音の入れ替え	音節	2	2022/12/24
154	スマートフォンを知らなかった子供	知らなくてどうもスンマホン	すんまへん	音の変化	母音		2022/12/24
155	スマートフォンを知らなかった子供	いえいえどういたスマして	どういたしまして	音の変化	母音		2022/12/24
156	婦人服売り場でミサエに服をおすすめする	母ちゃんににおうぞ	似合う	音の変化	音節		2023/01/07
157	本屋さんで	ベストブラーですな	ベストセラー	音の変化	音節		2023/01/07
158		見回り〜おかわり〜すいかわり〜		音の変化・音の変化 化・音の追加・音 の変化・音の変化	音節・子音・1・子 音・子音		2023/01/07

No.	文脈	発言	本来の意味(ツッコミ)	軸	下位分類	同軸の重複	年月
159	旅行に行く準備をしている	ラリックスはやっぱり温泉に限りますな	リラックス	音の入れ替え	母音		2023/01/14
160		まぎわらしいな	まぎらわしいな	音の入れ替え	子音		2023/01/14
161	草津温泉で	そうともゆ～。あえて別府の湯～。		同音			2023/01/14
162	旅館を出発するとき	お世話さまーは夏～		表現内容	一般表現		2023/01/14
163	幼稚園内で模擬裁判中	UFO しんちゃん	誘導尋問	音の変化・音の変化・音の変化	子音・子音・音節		2023/01/14
164	幼稚園内で模擬裁判中	半ケツを出す	判決	同音			2023/01/14